

2018年度車いす安全整備士養成講座 開催報告

初めに

2010年10月に第1回を開始した車いす安全整備士養成講座も、2019年3月を以て、開催回数が47回に至りました。つきましては、2018年度の総括として、本開催報告を掲載いたします。

1. 2018年度開催履歴（受講者数は再試験者を含めた数）

開催回	開催日	会場	受講者数
第42回	2018年4月28日・29日	久留米リサーチパーク(福岡県)	55
第43回	2018年7月21日・22日	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター(兵庫県)	39
第44回	2018年8月18日・19日	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター(兵庫県)	60
第45回	2018年11月17日・18日	埼玉県産業技術総合センター(埼玉県)	67
平日1	2018年11月26日・27日	一般社団法人日本福祉用具評価センター(兵庫県)	15
第46回	2018年12月7日～9日	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター(兵庫県)	62
平日2	2019年2月19日・20日	一般社団法人日本福祉用具評価センター(兵庫県)	4
第47回	2019年2月16日・17日	三宮コンベンションセンター(兵庫県)	61
平日3	2019年3月19日・20日	一般社団法人日本福祉用具評価センター(兵庫県)	11
総計			374

2. プログラム

1日目		2日目	
	内容		内容
9:00～9:10	開校式	9:00～10:00	車いすの組立 (実技・担当講師による指導)
9:10～10:15	手動車いすの規格 (座学) 別室にて実技再試験※1	10:00～12:05	車いすの点検～調整 (実技・担当講師による指導)
10:20～12:00	車いすの機能 (座学)	12:05～13:00	昼休み
12:00～13:00	昼休み	13:00～13:50	試験勉強時間 (筆記・実技どちらでも可)
13:00～14:30	メンテナンス基礎知識と 車いすの整備概論 (座学)	13:50～14:25	筆記試験
14:45～18:20	車いすの分解 (実演・実技)	14:35～16:00	実技試験
18:30～19:00	ナイトセミナー※2 (お弁当付)	16:10～16:35	筆記自己採点
		16:35～17:00	閉校式 (修了証授与)

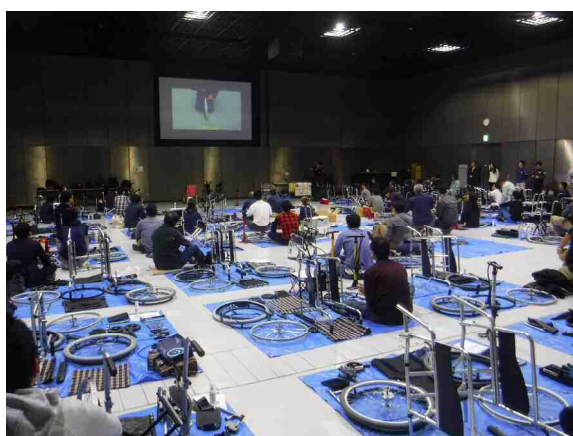
※上記は神戸開催時のプログラムであり、他地方開催の時はプログラムが若干異なる。

3. 講習の様子

関西開催（ニチイ学館 神戸ポートアイランドセンター）



関東開催（埼玉県産業技術総合センター）



九州開催（久留米リサーチパーク）



4. 参加者数・合格率

(1) 2010年～2018年 総合 参加者・合格率データ (2018年度は網掛け箇所)

受講回	受講者数	合格	不合格	合格率
第1回～10回	289	240	49	83.0%
第11回	38	26	12	68.4%
第12回	33	16	17	48.5%
第13回	42	33	9	78.6%
第14回	44	29	15	65.9%
第15回	41	25	16	61.0%
第16回	45	24	21	53.3%
第17回	45	30	15	66.7%
第18回	33	25	8	75.8%
第19回	35	23	12	65.7%
第20回	31	20	11	64.5%
第21回	47	28	19	59.6%
第22回	51	31	20	60.8%
第23回	51	32	19	62.7%
第24回	51	36	15	70.6%
第25回	36	23	13	63.9%
第26回	56	38	18	67.9%
第27回	54	31	23	57.4%
第28回	60	46	14	76.7%
第29回	71	50	21	70.4%
第30回	69	45	24	65.2%
第31回	39	30	9	76.9%
第32回	64	38	26	59.4%
第33回	42	25	17	59.5%
第34回	60	40	20	66.7%
第35回	62	38	24	61.3%
第36回	47	31	16	66.0%
第37回	66	46	20	69.7%
第38回	65	42	23	64.6%
第39回	62	43	19	69.4%
第40回	63	41	22	65.1%
第41回	52	36	16	69.2%
第42回	55	30	25	54.5%
第43回	39	29	10	74.4%
第44回	60	39	21	65.0%
第45回	67	45	22	67.2%
平日1	15	10	5	66.7%
第46回	62	42	20	67.7%
平日2	4	2	2	50.0%
第47回	61	42	19	68.9%
平日3	11	6	5	54.5%
総計	2218	1506	712	67.9%

(2) 都道府県別 合格者数及び実技講師認定者数データ

エリア	都道府県	合格者数	エリア別合格者合計数	実技講師認定者数
北海道地方	北海道	21	21	
東北地方	青森県	2	84	
	岩手県	4		
	宮城県	27		2
	秋田県	6		1
	山形県	10		
	福島県	35		1
関東地方	茨城県	19	365	
	栃木県	5		
	群馬県	13		
	埼玉県	44		3
	千葉県	114		
	東京都	128		11
	神奈川県	42		2
中部地方	新潟県	28	193	
	富山県	4		
	石川県	5		
	福井県	1		
	山梨県	8		
	長野県	6		
	岐阜県	57		15
	静岡県	16		1
	愛知県	68		13
近畿地方	三重県	10	548	1
	滋賀県	17		
	京都府	70		3
	大阪府	304		30
	兵庫県	114		22
	奈良県	28		6
	和歌山県	5		
中国地方	鳥取県	26	80	1
	島根県	2		
	岡山県	13		1
	広島県	29		
	山口県	10		
四国地方	徳島県	9	35	
	香川県	8		
	愛媛県	14		
	高知県	4		
九州地方	福岡県	56	154	4
	佐賀県	47		12
	長崎県	11		
	熊本県	9		
	大分県	3		
	宮崎県	3		
	鹿児島県	17		4
	沖縄県	8		
	不明	26		
総計		1506		133

※上記は受講当時のデータを集計したものです（会社一括申込の場合、本社の住所のみ反映されているものもあります）。

※不明については、アンケートのお願い等で合格後に連絡した結果、退職などにより、所在がわからなかった方の数です。

5. アンケート調査総合結果

(1) アンケート調査 フォーマット

第〇回車いす安全整備士養成講座アンケート

一般社団法人日本福祉用具評価センター（JASPEC）

- 受講者の皆様、2日間の講習お疲れ様でした。
今後のことも含め、受講された皆様から率直な御意見をいただきたく、アンケートでのご協力をお願いします。
なお、ご記入いただきました個人情報に関しては、アンケート分析以外の目的では使用いたしません。いただいた一部のご意見、集計結果は弊センターHPにて公開いたしますので、予めご了承いただけますよう、お願い申し上げます（個人が特定できる内容等につきましては、一切公開いたしません）。

【以下アンケート】

(1)アンケート内容に関して、ご意見を伺う可能性がございますので、強制ではありませんが、ぜひ、お名前、ご所属(会社名)、職務内容(以下の①～⑨より選択、複数に渡る場合は主業務にあたる職務内容をご記入)のご記入にご協力ください。

お名前	ご所属	お持ちの関連資格
従事職務内容 ※該当する番号をご記入ください(⑨その他の場合は、括弧の中に具体的な内容をお書きください)。		
① 福祉用具貸与 ② 福祉用具卸業 ③ 福祉用具メーカー ④ 自転車関係 ⑤ 在宅医療介護 ⑥ 施設医療介護 ⑦ 病院医療介護 ⑧ 来客者用備品担当 ⑨ その他()		

(2)養成講座の内容について(A.理解度とB.満足度共に、4つの評価の中から、いずれかの番号の記入をお願いします)

A.理解度 (①良く理解できた ②理解できた ③あまり理解できなかった ④理解できなかった)

質問項目	理解度	質問項目	理解度
座学:手動車椅子の規格		実技:車椅子の分解	
座学:手動車椅子の機能(基礎)		実技:車椅子の組立	
座学:メンテナンスの基礎知識と整備概論		実技:車椅子の点検・調整	

B.満足度 (①大変満足できた ②満足できた ③やや不満 ④不満)

質問項目	満足度	質問項目	満足度
講習内容について		座学講師について	
講習時間について		実技講師について	
講習全体について		ナイトセミナーについて	

(3)上記(2)項全般についての御意見がございましたらご記入下さい。(返答希望)

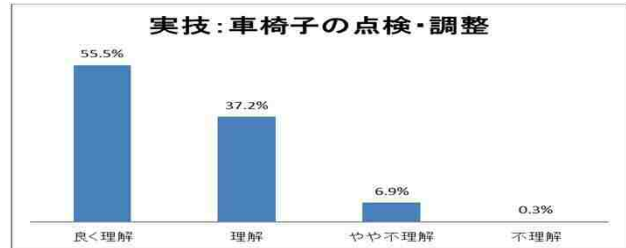
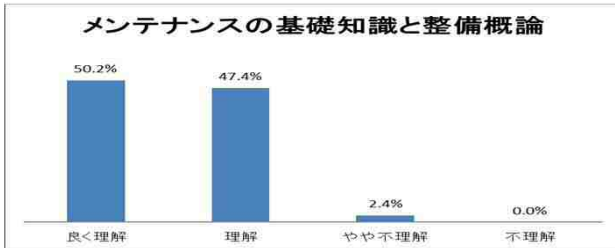
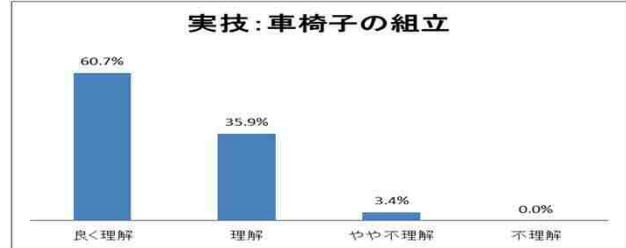
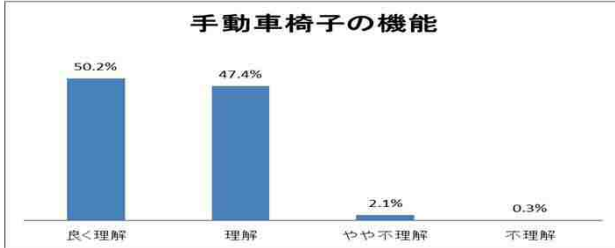
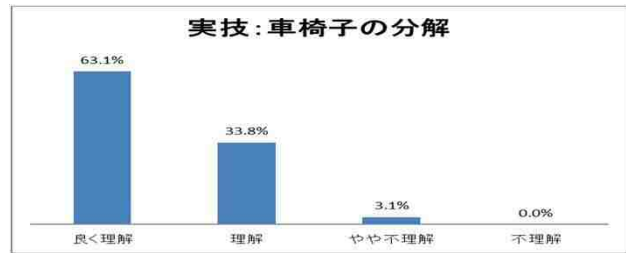
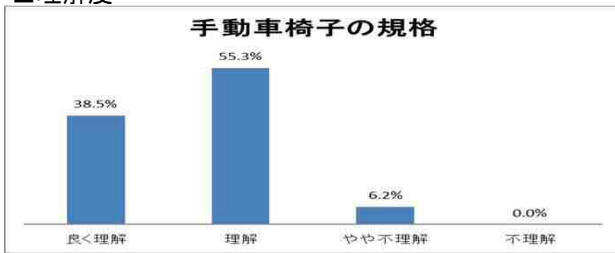
(4)その他運営上の問題点などお気づきのことがございましたら、ご記入下さい。(返答希望)

ご協力、ありがとうございました。

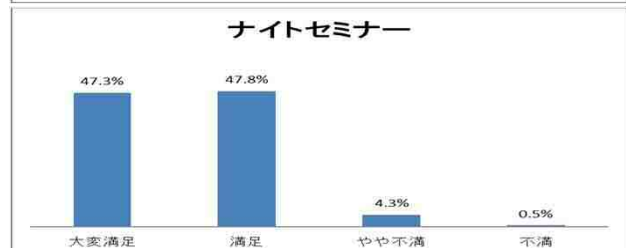
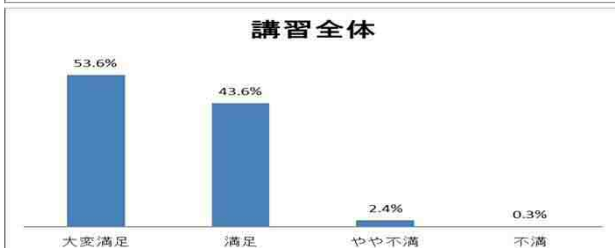
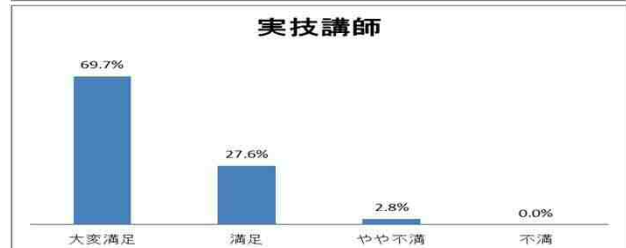
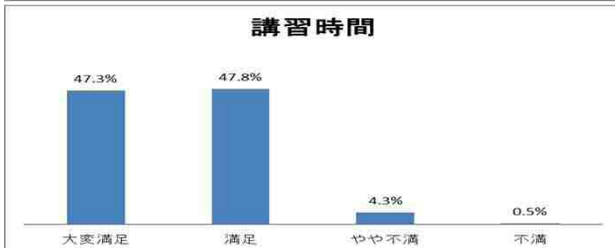
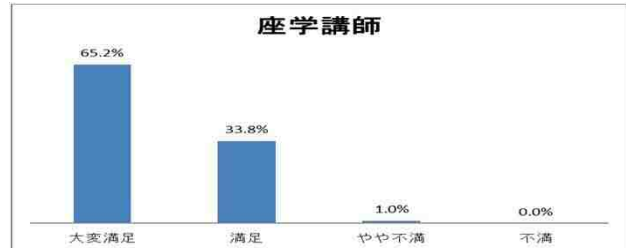
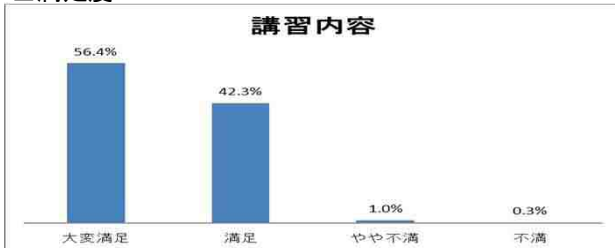
※上記ご意見につきまして、弊センターより返答が必要な場合、返答希望に☑を入れたうえで、下記にE-Mail アドレスをご記入ください。
返答希望 E-Mail アドレス _____

(2)2018年度アンケート集計結果(回答数:291)※再受講(実技のみ)・再試験者を除く

■理解度



■満足度



■職務別受講生

福祉用具貸与	105	その他内訳:
福祉用具卸業	36	障害者支援、障害児福祉、障害者就労支援施設、障害者福祉事業所、福祉用具メンテナンス、福祉用具クリーニング
福祉用具メーカー	33	グ、福祉用具整備、福祉車両整備、自動車整備士、自動車整備業、自動車部品製造業、二輪車販売整備業、バイク
自転車関係	14	販売業、バイク便、病院設備管理、病院施設管理、入所施設、電動車椅子調査・修理、認証機関、介護士、訪問リハ
在宅医療介護	2	ビリ、医療機器販売業、医療機器メンテナンス、健康食品製造業、運送業、断酒支援施設、登録ヘルパー、建材メー
施設医療介護	22	カー、地域振興関係団体、事務、居宅サービス、特別支援教育、一般会社員、建築・機械設備、介護タクシー運転手、
病院医療介護	12	精密機械設計・開発、飲食業、学生、SE・設備設計、無職
来客者用備品担当	0	
その他	66	

6. 2019 年度開催計画

開催回	開催日	開催地	参加申込受付開始日	定員
第48回	2019年5月18日(土)・19日(日)	神戸	2019年3月13日(水)	60名
第49回	2019年6月12日(水)・13日(木)	神戸	2019年3月13日(水)	15名
第50回	2019年6月29日(土)・30日(日)	東京	2019年5月8日(水)	60名
第51回	2019年9月7日(土)・8日(日)	神戸	2019年7月10日(水)	60名
第52回	2019年9月12日(木)・13日(金)	神戸	2019年7月10日(水)	15名
第53回	2019年11月2日(土)・3日(日)	仙台	2019年9月4日(水)	60名
第54回	2019年11月23日(土)・24日(日)	神戸	2019年9月25日(水)	60名
第55回	2019年12月11日(水)・12日(木)	神戸	2019年10月	15名
第56回	2020年2月22日(土)・23日(日)	神戸	2019年12月	60名
第57回	2020年3月4日(水)・5日(木)	神戸	2019年1月	15名

※上記は変更となる可能性がございます。

7. 2018 年度総括 及び 2019 年度開催に向けて

文責：一般社団法人日本福祉用具評価センター
管理部 係長 植松 規

2017 年度の報告時、年度認定者数が過去最高で 239 名でしたという報告をさせていただきましたが、2018 年度はそれを更新し、年度認定者数が 245 名となりました。しかし、合格率はというと、比較すると 2017 年度は 67.3%に対し、2018 年度は 65.5%とやや落ち込む形となってしまいました。2017 年度は全ての回の合格率が 60%台に対し、2018 年度は 50%台の回が数回あり、それがこの結果となりました。回による受講生レベルのバラつきと云ってしまえばそれまでですが、運営としてはこの結果を踏まえ、より内容がしっかりと伝わるような講義をしていかなければならないと痛感しました。

・ 2018 年度の取り組み内容

2018 年度の第 47 回(2 月開催時)より、一部手順の改定を行いました。改定内容としましては、「タイヤ・チューブの分解」時の手順です(内容につきましては、弊センターの HP にてお知らせしております)。改定した理由としましては、昨今の車椅子を見ると、軽量車椅子が非常に増えています。軽量車椅子には高圧タイヤと呼ばれる細めのタイヤが使われており、現在の手順では高圧タイヤに対応しにくいと考え、変更することとしました。実技で使用している映像も再度取り直し、再編集いたしましたので、より分かりやすくなっているかと思えます。また、それに伴い、実技の授業で使用している点検表も、より分かりやすい表現となるよう見直

しました。もし、本記事を読んでいる方で、過去受講された方がいらっしゃいましたら、是非とも一度ご覧ください（HPのフォームよりご連絡をいただけましたら、新しい点検表をお送りいたします）。

また、2018年度は一つ、皆様のご要望にお応えするため、新たな試みを開始いたしました。開催履歴を見ていただくとお分かりかと思いますが、2018年度下半期より、平日開催というものを実施いたしました。この平日開催は、「平日にしか受講できない」という方々のお声をいただき、まずは少人数で開催することとしました。下半期に全部で3回行うこととし、事前の告知はせず、それぞれ開催の2か月前より募集を開始しましたが、結果としては15名定員に対し、3回中2回が10名を超える申込者数となりました（超えてない1回は4名だけでしたが・・・）。

・2019年度に取り組んでいく内容

前述した2018年度の取り組み内容を踏まえ、2019年度以降は通常の土日開催に加え、年間4回、平日でも開催を行うこととしました。今まで日程が合わなくて受ける機会を失っていた方は、是非とも受講ください。

また、地方での養成講座の開催についての対応は、距離などの問題によって、中々実施が出来なかったのですが、要望自体はずっとあり、2019年度には東北での開催を行います。東北開催はこれで2回目となります。実際のところ、頻繁に開催するのは難しいため、是非ともこの機会にご受講ください。

・2019年度に向けて

既に2019年度は始まっておりますが、今年度は昨年度と同様、広報活動に力を入れなければならないと痛感しております。その理由として、5月に開催した第48回の受講希望者が今までになく少数だったため、結果として会場変更を余儀なくされました。開催した時期が悪かった可能性もありますが、この資格自体をもっと広く知ってもらわなければならないと、改めて感じました。

車いす安全整備士はこれからの高齢社会に無くてはならない資格だと考えています。この資格がないと、整備技術の技量レベルが分からず、安心して車椅子の整備を任せることができません。周りに車椅子を整備されるお仕事をされている方がいらっしゃいましたら、これを読んでいただいている皆様からも、是非とも受講を勧めていただきたく、お願い申し上げます。

今後も、本講座が皆様にとって有意義な時間になるよう、車いす安全整備士実行委員会を中心に、より一層、内容の充実を図っていく所存でございます。本講座を、多くの車椅子整備に関わる多くの方並びに車椅子を身近にご使用している方々へも拡大し、世の中に流通している車椅子がより安全で安心してご利用いただける社会の実現を築き上げたいと願っています。まだ受講されていない方は、是非とも受講のご検討のほど、よろしくお願いいたします。

以上